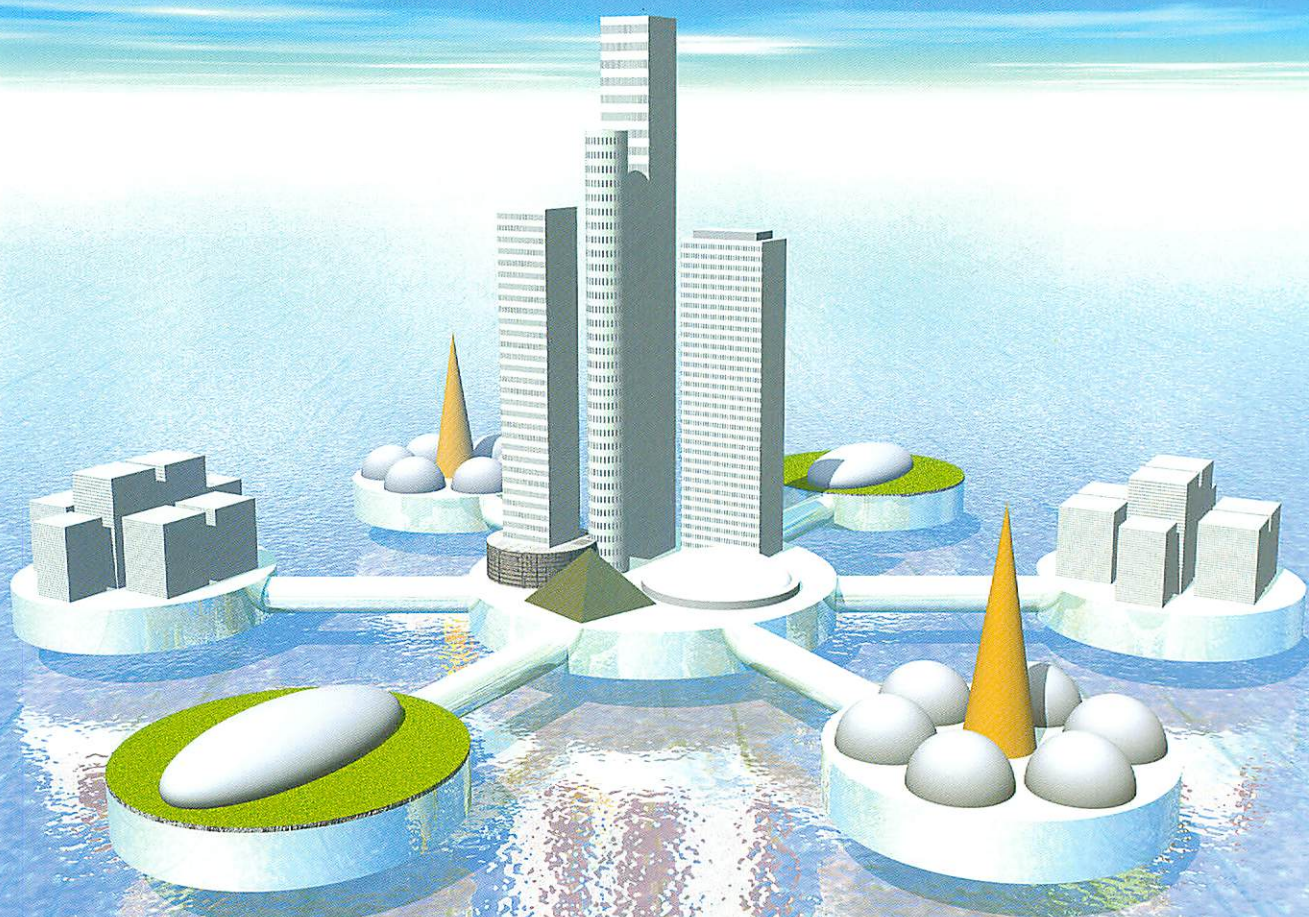


国立大学等における  
**教育・研究現場からの  
緊急課題**

—21世紀の発展を目指して—

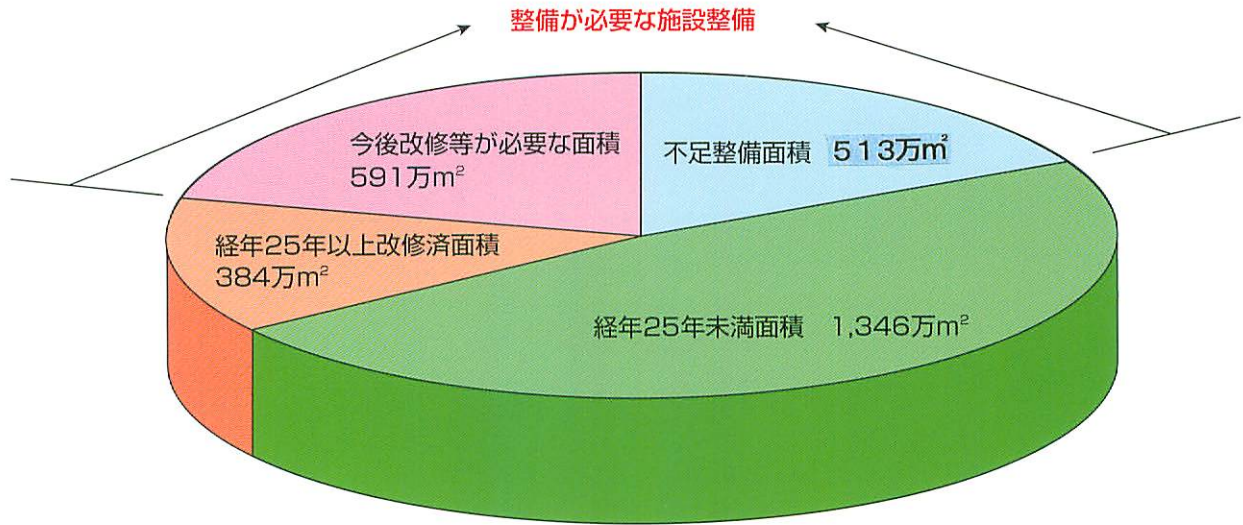


〔施設整備の現状〕

—国立大学協会—  
平成13年11月

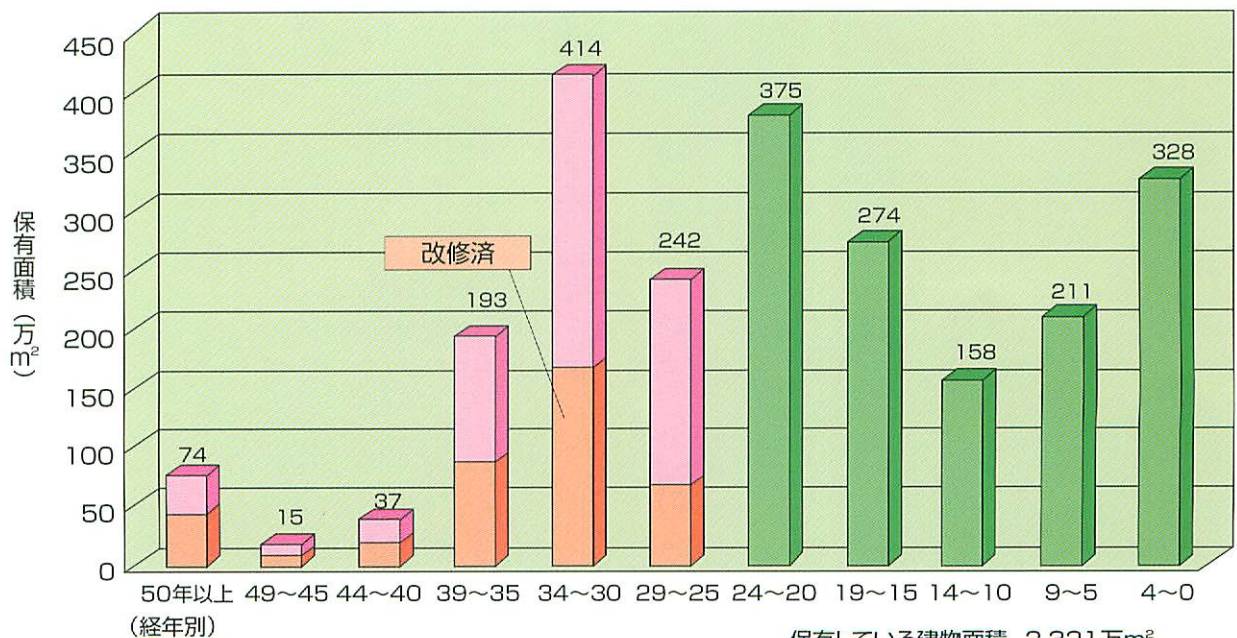
# 老朽化・狭隘化が著しい国立学校施設

要整備等面積(平成12年5月1日現在)



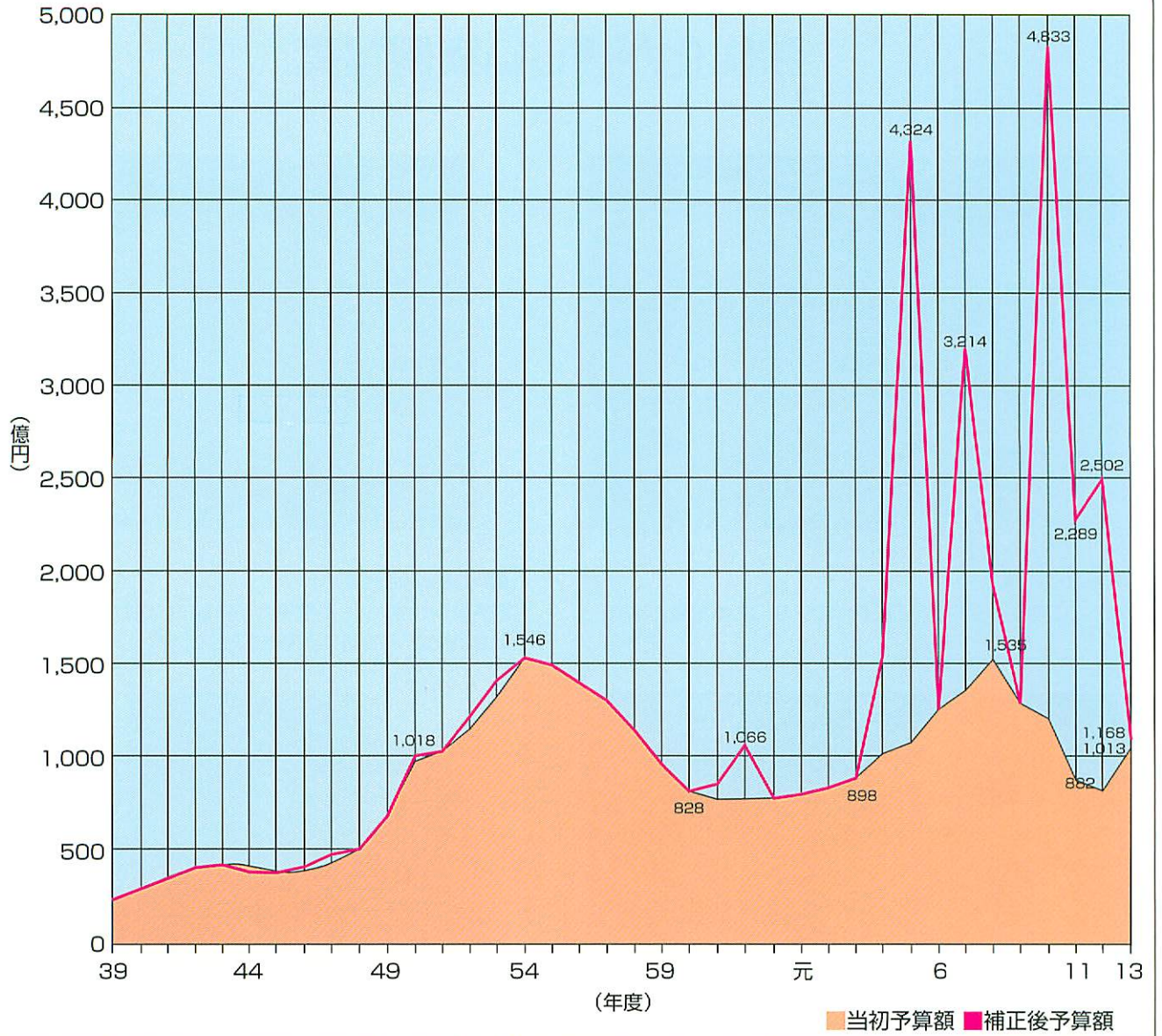
保有面積 2,321万m<sup>2</sup>

経年別保有面積(平成12年5月1日現在)

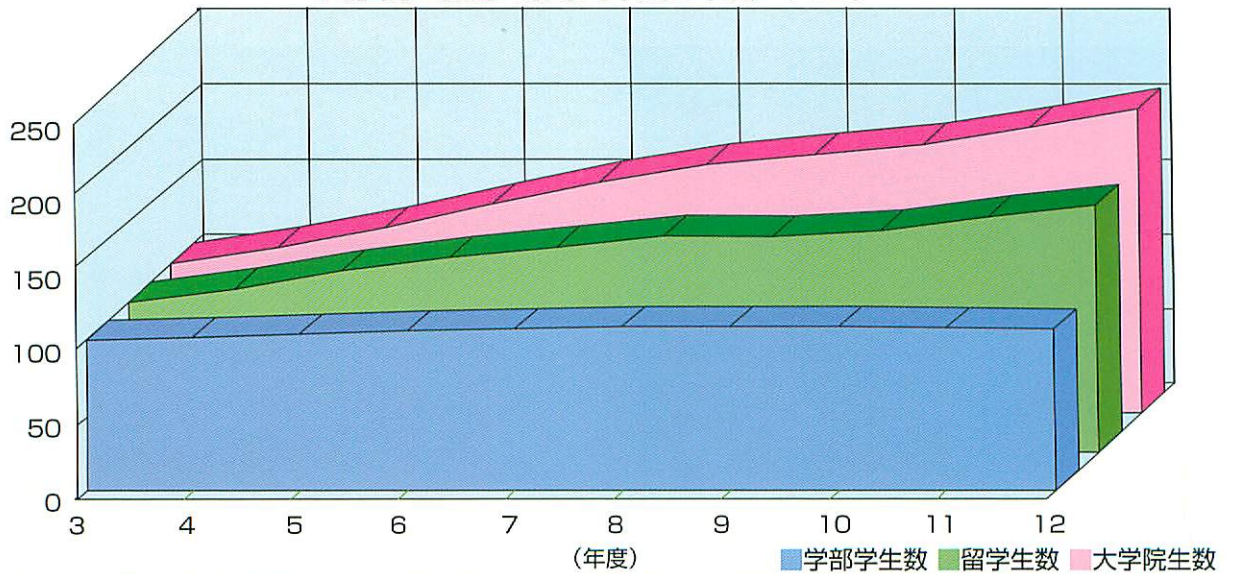


保有している建物面積 2,321万m<sup>2</sup>  
 25年以上経過した建物 975万m<sup>2</sup>(42%)  
 うち修復した建物 384万m<sup>2</sup>

施設整備費予算額の推移



大学院生数等の推移(平成3年度=100)



## 老朽化が著しい実例写真



■写真1：内装(天井)

漏水のため天井材の汚損が激しくまた一部欠落しており危険である。



■写真2：外壁(庇)

老朽化により庇の一部が欠落しており危険である。



■写真3：外壁

老朽化に伴い外壁表面が一部剥離しており、危険である。



■写真4：外壁

経年の老朽化により外壁が剥離し危険な状態になっている。



■写真5：ポンプ室

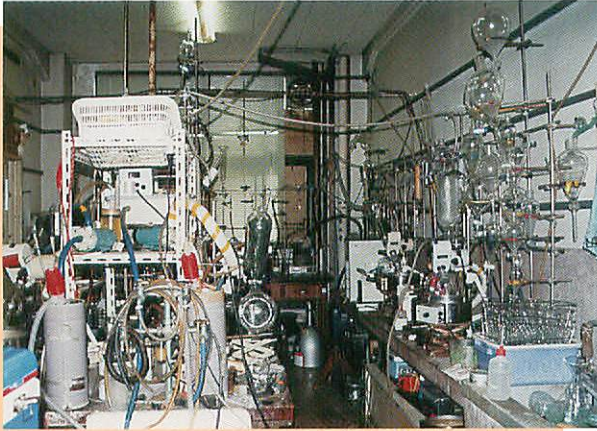
老朽化に伴い、ポンプから水漏れが発生し効率が悪くなり不経済である。



■写真6：膨張タンク(水槽)

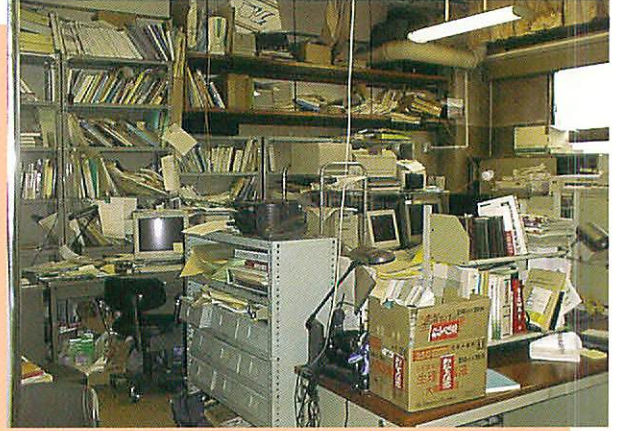
腐食により点検口を開くことができず点検ができない状況で管理に支障をきたしている。

## 狭隘化が著しい実例写真



■写真1：実験室

狭隘により実験設備等の適正配置ができないため危険である。



■写真2：研究室

研究資料が増加し、研究室内が狭隘になり他にスペースが取れないため、研究等に支障をきたしている。



■写真3：大学院生研究室

大学院生の増加により実験室等が狭隘で実験及び研究に支障をきたしている。



■写真4：研究施設(仮設建物)

大学院生の増加により研究室が狭隘になり、仮設建物を設置し不足分を補っている。



■写真5：廊下

研究室内の狭隘化により、実験機器を廊下に置いて実験・研究を行わなければならない状態で通行にも支障が出ている。



■写真6：階段

研究室の狭隘化により研究資料の保管場所が取れず、又更衣ロッカーも置けない状況で階段に置かざるをえないため、避難上危険である。

- 基本的な教育研究環境の確保
- 計画的施設整備の推進
- 社会の変化・大学改革に対応する施設環境の整備
- 施設整備財源の充実と多様化



改善前



改善後

老朽狭隘施設の  
改善整備例